

市と多様な主体との協働に関する実績・評価（抽出調査）について

1 調査の目的

市と市民活動団体等との協働事業について、市と協働の相手方の双方が事業の協働状況に関し自己評価・相互評価をし、浜松市市民協働推進条例に掲げる基本理念（対等性・公正性・透明性の確保、自主性・主体性の尊重等）にのっとり事業が行われているかを調査するもの。

2 調査方法

平成 30 年度に執行した市民活動団体等及び市が協働して実施する事業（181 件）から調査対象事業を選定し、対象事業の相手（市民活動団体等）、市担当課の双方から別添「抽出調査シート（資料 6）」により回答を得た。

3 調査対象案件

市民活動団体等から提案があった事業 3 件

4 回答結果

(1) 事業の目標設定と成果（事業についての評価・点検）

①共有した事業目的・目標

全ての案件で、市民活動団体と市が同じ目的・目標を共有していた。

②協働による効果

	大変良かった	良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	良くなかった
市民活動団体等	3	0	0	0	0
市	2	1	0	0	0

③要因の検証

②で回答があった協働による効果の要因について、7つの要因（資金、人材・人手、場所・資材、期間スケジュール、ノウハウ、情報共有、市民ニーズ）を、「プラス要因」、「マイナス要因」、「どちらでもない」のうちから回答。市民活動団体等、市ともに全ての項目で「プラス要因」との回答であった。

④単独実施では難しかったり、できなかつたりしたこと

市民活動団体の回答	市の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・初開催するにあたり、団体単独では、事業に必要な関係機関への申請等について、<u>市を通じて必要な関係機関等に繋いでもらえた。</u> ・<u>市との共催により、事業の社会的信頼度がアップし、レベルの高い団体の参加があり誘客効果も増加した。</u> ・<u>会場の確保が事前にできたこと</u>から、計画的に事業が進めることができた。 ・<u>資料や写真は、市の協力による提供がなければ厳しかった。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の予算がなければ、<u>新しい取組みはできなかった。</u> ・<u>市単独では協賛金の呼びかけは難しかった。</u> ・<u>市単独では集められない人材の確保、さらに団体の持つ演奏会に係るノウハウを活用した運営</u>ができた。 ・<u>少ない経費で有効な事業展開</u>ができた。 ・行政主導ではなく、<u>「地域目線」で作りあげることができた。</u>

(2) 協働したことについての経緯・評価・点検

①協働の経緯や決め手

市民活動団体の回答	市の回答
<p>・初開催のため、住民や様々な団体と連携する必要があり、<u>関係機関との繋ぎや申請ついて市と連携する必要があったから。</u></p> <p>・本事業をアクト中ホールで開催できないか市に相談したところ、その目的に賛同をいただき、ホールの確保、ホール使用料に当たる金額を補助するということになり今日に至っている。</p> <p>・市と連携して何か実施したいという話をしており、<u>団体側から本事業の実施を提案したところ、市との考えが一致した。</u></p>	<p>・相手方は、地域振興のPRに繋がる仕掛けを実施しており、本イベントを開催するにあたり<u>協働することで地域に良い効果をもたらすことが期待できるから。</u></p> <p>・各地区の共通課題が生じ、連携した取組が必要になっている。<u>共通課題の解消や活力ある地域づくりのため、地域で連携し活動する必要があると考えたから。</u></p> <p>・地域の歴史をまとめるに当たり、行政資料を必要とすることから、<u>行政が加わることにより、スムーズな対応が可能になるため。</u></p> <p>・本市が「音楽のまちづくり」を推進している中、イベントの開催や音楽文化を担う人材育成に取り組んでいる団体であったから。</p>

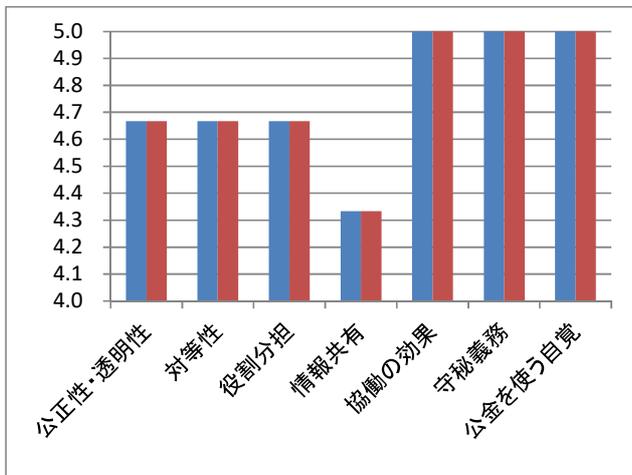
②協働先との関わり

市民活動団体の回答	市の回答
<p>・<u>これまでも協働で本事業を行っていた。</u></p> <p>・これまでも<u>各種事業において連携をしていた。</u></p>	<p>・<u>これまでも協働で本事業を行っていた。</u></p> <p>・合併前は事務局を行政が行っていたという経緯もあり、<u>その他の面でも連携をしていた。</u></p> <p>・これまで、行政と各地区との間では連携を図っていたが、<u>地域全体での協働による取組は、初めてである。</u></p>

③相互評価（5点満点）※平均点

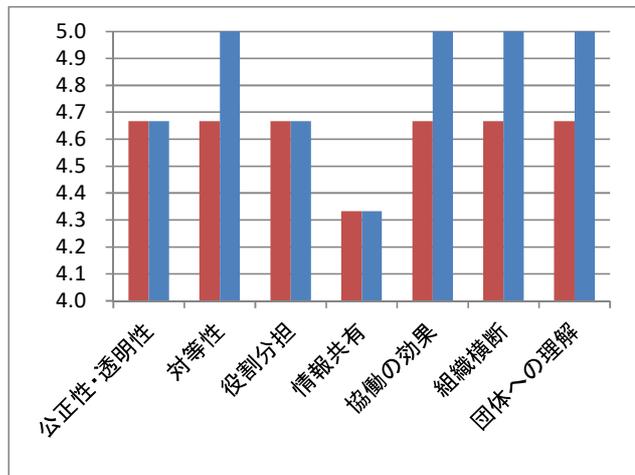
市民活動団体等に対する評価

■自己評価 ■市からの評価



市に対する評価

■自己評価 ■市民活動団体からの評価



- ・全項目平均点が4.3点以上である。
- ・双方に共通して「④情報共有」の点数が他の項目に比べて低い。
- ・市に対する評価について、自己評価よりも市民活動団体等からの評価が高い傾向にある。

④改善の検討（上記①～⑨のうち、特に改善が必要と感ずること）

	市民活動団体の回答数と内容	市の回答数と内容
双方が改善	1件 ⑤市をはじめ関係団体の協力だけでなく、もっと <u>地域住民を巻き込んだ取り組みとしていきたい。</u>	1件 ⑤ <u>地域住民を更に巻き込み、ゆくゆくは地域住民主体のイベントになっていくのがベスト。</u>
市が改善	1件 ⑨ <u>知名度が上がるまでもう少し予算が必要。</u>	3件 ⑨ <u>知名度を上げるためにもう少し予算が必要と感ずた。</u> ④ <u>情報交換等による効果的な事業ニーズの把握が必要。</u> ⑨ <u>事業効果を高めるためには、もう少し予算が必要。</u>
市民活動団体が改善	2件 ⑨ <u>知名度を上げ、チケット収入増や協賛金増などで更に自主財源を上げること。</u> ④ <u>今までは、ある程度まとまったところで報告をしていたが、今後は実行委員会の都度報告するようにしたい。</u>	1件 ⑨ <u>主催者が一部だけでなく、もっと会員全体で盛り上げる必要を感ずた。</u>

⑤今後の市と市民協働団体との協働について

	積極的に進めたい	機会があれば進めたい	どちらとも言えない	あまり進めたくない	進めたくない
市民活動団体等	2	1	0	0	0
市	2	1	0	0	0

その理由について

市民活動団体の内容	市の内容
<p>・市との協働によりイベント等への<u>信頼度も上がり、関係団体等からの連携や協力も得られやすい</u>ため、<u>今後も連携をとりあって事業を行いたい。</u></p>	<p>・<u>地域振興や観光振興を行う上で、協働は必要不可欠と考える。</u></p> <p>・<u>団体のもつ人脈やノウハウを活かした市民が気楽に音楽を楽しむ機会</u>の創出のため協働を進めたい。</p> <p>・今回の取組みをきっかけに、<u>今後も地域との連携が益々進めば良い。</u></p>

⑥良かった点や改善提案

	市民活動団体の回答	市の回答
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地元外にも認知された。</u> ・市をはじめ、<u>色々な団体との連携が</u>でき、初開催にも関わらず<u>スムーズに運営</u>ができた。 ・効果的な事業運営はもとより、県民への PR 効果も高まり<u>事業の底辺拡大</u>に貢献できた。 ・<u>市の協力や外部からのアドバイスが</u>あって、はじめて実施することができた。とても素晴らしいものを記録として残すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の予算をもって新規イベントの立ち上げができた。初開催ながら<u>イベントは盛り上がり、地元外にも認知</u>されるなど効果があった。 ・<u>事業の底辺拡大と次世代の音楽文化の担い手づくりへの取組みの醸成。</u> ・<u>地域主導型に行政が応援する形で</u>事業を行うことができた。 ・<u>地域住民自らが活用できるもの</u>として完成した。 ・資料の収集、地域や事業所の協力を得るなど<u>一丸となった取組みが</u>された。
改善提案、今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、将来の音楽文化の担い手としての若者の参加を促す工夫をしたい。 ・限られた期間の中で作成しなければならなかったため、<u>スケジュールにも</u>う少し余裕があればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、<u>住民主体のイベント</u>として継続できるかが課題。 ・<u>実質 9 カ月間での集約はタイトな日程</u>であった。

⑦事業の総合的評価

	大変良かった	良かった	どちらとも言えない	あまり良くなかった	良くなかった
市民活動団体等	3	0	0	0	0
市	2	1	0	0	0

その理由について

市民活動団体の内容	市の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな誘客を狙い新事業を実施したが、市をはじめその他多くの団体等の協力により初開催から成功を収めることが出来た。今後も<u>地域に必要な事業やイベント等の仕掛けを実施して行くためには市との連携は必要不可欠</u>であると感じます。 ・<u>若い人たちの活動を育成する事業を開催</u>することができた。 ・限られた予算、期間の中で、<u>最大限の効果を</u>生み出すことができた。地域のことをあまり知らない人たちや、これからの世代の人たちに、何か残したいという<u>思いを実現</u>することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への誘客を考えた時、<u>既に定着しているイベントの来町者とは異なった客層への誘客</u>に繋がる本事業については有意義であると感じました。 ・音楽の楽しさを市民・県民と共有する機会となり、<u>本市の推進する「音楽のまちづくり」の一端を知ってもら</u>うことができた。 ・本事業で作成したものが、<u>地域の中でどのように活用されたのか検証</u>できればもっと良かった。

(3) その他

市民活動団体	市
・本事業は、浜松市の施策の一つである「音楽の街づくり」の一環であることを理解している。市民以外に「 <u>音楽のまちづくり</u> 」を知っていただく貴重な機会になっている。	・本事業は、子供から大人まで一体となって音楽を楽しんでいる様子が、市内外の人に浜松市における「 <u>音楽のまちづくり</u> 」を知っていただく貴重な機会になっている。

5 総評

今回の対象事業は、市民活動団体等から市に対して提案があったものである。提案を市が受け止め、双方が事業の趣旨を共有して実施したことから、高い満足度であることが確認できた。

市と市民活動団体等の双方から、協働することで高い効果・成果を得られたという回答が見られ、それぞれが持つ人脈、調整力、専門性など、強みや特性を生かした事業の実施を期待し合っていることが分かった。

協働での事業実施に関して互いに対する高い評価が見られる一方、事業効果をより高めるための資金の確保や将来の担い手育成、事業の周知などについては、課題として認識されており、今後も双方が連携して取り組んでいく必要がある。